



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
 議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 102 号



10 月 6 日鋸南アクアスロン + オーシャンスイム大会

は
や
わ
か
り

9 月定例議会	
勝山小学校管理特別教室棟着工	2 ページ
補正予算	
佐久間ダム公園の最終構想は	3 ページ
一般質問	
三国・緒方・笹生の 3 議員	4～5 ページ
予算審査特別委員会	
消防団員の確保対策は	6～7 ページ
裏表紙	
源頼朝 830 年祭 海を越えて	8 ページ

9月議会

保田小・勝山小統合に向け条例改正 26年4月から「鋸南小学校」に

9月定例議会は、会期を5日から12日まで、8日間として開催した。今定例会の町長提出議案は鋸南町立小学校設置条例の一部改正など4件と、補正予算3件、決算認定2件と、財政健全化法に基づく報告3件の計19件。平成23年度の決算については、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月7日に審査した。

勝山小学校管理特別教室棟

25年の完成に向け工事着工

鋸南町では、少子化による子どもの減少や施設の老朽化に対応すべく、教育施設の再編を実施している。すでに、中学校・幼稚園・保育所を1カ所としており、小学校についても小学校統合準備委員会を設置し、統合の協議を進めている。今回の鋸南町立小学校設置条例の一部改については、保田小学校と勝山小学校を統合し、名称を「鋸南町立鋸南小学校」に改めるもので、平成26年4月1日から現在の勝山小学校で開校する。

勝山小学校管理特別教室棟改築工事については、事後審査型制限付一般競争入札により、勝山の株式会社鈴木工務店が契約金額5億6175万円で落札した。9月から解体工事をを行い、解体後の12月から約1年間かけ建設する。また、工事期間中は一部の授業を仮設校舎で行う予定となる。



勝山小学校管理特別教室棟解体

子ども医療費

支給条例の改正

子どもの疾病に係る医療

費助成は通院・入院ともに、小学校3年生までを助成対象としていた。今回の改正により、入院に係る助成対象を平成24年12月から、中学校3年生まで拡大する。

指定管理者に指定

「デイサービスセンターを鋸南町社会福祉協議会へ、鋸南病院を鋸南きさらぎ会へ、引き続き指定管理者に指定した。なお、指定の間は平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間となる。

新監査委員選任

鋸南町監査委員に川名洋司氏が選任された。任期は平成24年9月18日から平成28年9月17日の4年間となる。また、前監査委員の浪川明氏は監査委員として、4期16年の長きにわたり町財政の監査に尽力されました。

一般会計補正予算

歳入歳出ともに、4,536万2千円を追加し、総額39億9,718万6千円となりました。

主な歳入は、災害復旧費国庫補助金等1,056万円、有害獣被害防止補助金等県補助金344万円、教育振興費寄付金等181万円、前年度繰越金5,703万円、災害復旧債等で771万円の増額。

なお、財政調整基金の繰入減額等で3,748万円の減額。

主な歳出は、庁舎設備等修繕279万円、議会中継機器購入59万円、障害者自立支援給付費等国庫負担金返還金392万円、不活化ポリオワクチン接種委託97万円、有害鳥獣対策関係費489万円、佐久間ダム景観整備委託90万円、保田・勝山駅前アーチ撤去89万円、図書購入100万円、公民館修繕168万円、道路橋梁災害復旧1,370万円、漁港施設災害復旧700万円。

国保会計補正予算

総合事務組合負担金を63万円追加し、総額12億5,350万円となりました。

介護会計補正予算

歳入歳出とも1,650万6千円を追加し、総額10億8,910万3千円となりました。

主な歳入は前年度繰越金1,190万5千円。

主な歳出は、基金積立943万5千円、前年度介護給付費清算金、707万2千円（県等へ485万5千円、一般会計へ221万7千円）。

質問 議会中継機器購入について、内容は、**議会事務局** 利用料無料の配信サービス「ユーストリーム」を利用し、4台のカメラにより、本年12月の本会議からの実況中継を考えています。

の方に議会を傍聴していたために、会議の様子をインターネット上で配信します。
是非ご覧ください。



景観整備が実施される佐久間ダム

佐久間ダム公園の最終構想は

補正予算の主な質疑

質問 佐久間ダム景観整備事業は、これ以上広げないと過去に答弁があつたが、最終的な構想や計画があるのか。
地域振興課長 ダム周辺の景観整備については地元からの要望があれば、町で判断し整備を行いたいと思

質問 普通交付税が決定したが、特別交付税の見込みは。
総務企画課長 1億3800万円を見込んでいます。
質問 不活化ワクチンの対象人数等の状況は。
保健福祉課長 対象者を40人で見込んでいます。状況

インターネットを使い

12月から中継

鋸南町議会では、平成24年12月定例会からより多く

を把握し、事故のないよう対処します。
要望 対象者に広報や説明等を十分行い、綿密に取り組んでほしい。

ここがききたい



いっぱん

質問

消防指令業務の統合化は

災害時の情報連絡網に不安



三国 幸次 議員

4班集体で、1班が19名で76名です。管理部門はシステム等の管理に係る職員が10名、併せて86名体制での

運用となります。安房消防からは4名の職員が派遣をされます。
要望 災害時の情報連絡網に不安がある。安房広域で災害時の情報連絡網等の検討をしてほしい。
質問 平成21年度から建設が進められていた、新しい火葬場「安房聖苑」はいつから運用されるのか。

町長 本年10月1日から供用開始です。
質問 ごみ処理広域化の用地の最終決定は。
町長 富浦地区行政連絡協議会に対し、地権者との協議が整うまでの間、事業を停止し、協議が整わなければ、予定地の変更を検討する必要がある旨を伝えたとのことです。



質問 火災や災害時の消防指令業務の共同化、統合化はどうなるのか。

町長 消防司令業務の共同運用については、県内を2ブロックに分けます。安房消防本部が属する北東部・南部ブロックの20の消防本部については千葉市消防局に共同指令センターが設置され、平成25年4月からは全ての119番が共同指令センターで受信されます。
質問 指令本部は何名の体制で各本部から何名ぐらいの職員が派遣されるのか。
総務企画課長 通信員は、



緒方 猛 議員

質問 町の65歳以上の一人暮らしは現在790人。高齢者が万一の時の連絡に不安を持つ人は多い。今年2月雨の中自宅横の溝に転落し、数時間後配食ボランティアに発見され病院に急行し難を逃れたが、ペンダント式SOS発信器を身に付けていたら即連絡も出来た。

SOS 発信

「高齢者安否確認」システムの導入を

県下54自治体の内本町以外全てがこのシステムを導入している。鋸南町だけ導入されていないのは何故か。
町長 平成12、13年年度に「福祉電話・シルバーホン あんしん」を設置した経緯はありますが、種々の要因で継続できませんでした。
質問 不安の解消と命の綱

とも思えるSOS発信システムを他自治体同様生きたシステムとすべきと思うが。
町長 日常的に安否確認し合える体制作りに努力する一方、緊急通報システムについて前向きに検討します。
質問 環境審議会条例は町長の諮問に応じ、調査審議を行うと規定されているが



大六地区国道沿いの植栽樹



緊急通報装置

質問 全国的に「空き家」が増加し、防災上の問題・不法投棄の温床・放火の危険等々指摘され、鋸南町でも例外ではない。また、空き家を町の活性化に繋げている自治体も出てきた。そこで、今後の空き家対策を伺う。

町長 空き家率は高く、年々増加傾向と予測され、対策の必要性を強く感じています。また、「空き家バン

ク事業」も近隣では実施しており、本町でも空き家の状況を把握したうえで検討します。

要望 問題が起きる前に条例制定だけでも早急に願いたい。

質問 タバコの害が言われて久しく、ようやく町庁舎でも禁煙とした。一方、タバコの自販機が設置しており、外階段の踊り場や、駐車場で喫煙している。みつ

ともないと感じるが、どのように考えるか。

町長 タバコの自販機は禁煙後も需要があるので置いています。喫煙場所については「施設外」として特に指定していませんが、今後来庁者の中に喫煙者もいることから検討します。

要望 先に禁煙を実施してきた南房総市、新幹線ホーム、さらには、東京駅地下も新しくリフレッシュル

空き家条例は 早急に制定すべき



笹生 正己 議員

環境問題は立場や知識、将来の影響等の見解差の大きい問題である。また、「首長の諮問に応じ」が明文化していない自治体が館山・鴨川市等、既に県下で7つあり、鋸南町においてもよ

り広く一般の意見を聞く審議会とするため、条例改正をすべきと思うが。

町長 私も環境問題は議員と同様の認識を持っていきます。より多くの方の意見を聞き、必要と判断した場合

は町長からの諮問として審議をお願いしますが、現時点で条例改正は考えておりません。

要望 今年の1月三つの課題で調査審議を要請したが取り上げられず、判断結果

の正式回答もない。より多くの意見を聞き、と言うが現実そうならない。町長の諮問に限定せず、真に間口を広げるために早期条例改正を求めます。

ムを設けている。先に禁煙を実施したところがそうであり、庁舎内にも設けてほしい。

質問 町長は自ら、草刈り等「花であふれるまちづくり」を実践しているが、「公共の場に花が少ない」などの意見を聞く。金に余裕がないのか、また気持ちに余裕がないのか。余裕が無いと問題だが、どう思うか。

町長 桜、水仙だけでなく「おしろい花」の植栽も好評を得ています。職員だけでなく、地域の皆さまの協力も得ながら公共施設に花を飾り、快適な空間づくり



質疑 23年度決算

歳出は40.9億円で8.4%の減



住民基本台帳カード

消防団員の確保対策は

平成23年度の各会計決算の審査を行うため、議員全員で構成する決算審査特別委員会（伊藤委員長）を開催した。一般会計については、経済対策関連事業の終了に伴い歳入歳出が減少し、歳入総額は、42億6300万円の前年度比9.4%の減。歳出総額は、40億8900万円の前年度比8.4%の減となった。町税徴収率は91.76%となり、前年度より0.17%増となった。審査の後、採決を行った結果、平成23年度決算については全員賛成で原案のとおり認定すべきものと決定した。

☆一般会計決算

質問 消防団員確保のため、どのような対策をとっているか。
総務管理室長 分団によっては、退団する年齢の引き上げ等の対策を講じていま

す。また、団員確保の対策については今後も消防委員会等で検討していきます。

質問 県税取扱交付金が昨年度に比べ減少しているがその内訳は。
企画財政室長 法人事業税と不動産取得税が減少して

いますが、自動車税が増となり、周知は図れたと考えます。

質問 循環バスは約1350万円の赤字であり、老朽化も進んでいるが今後の対策は。
企画財政室長 今後は運行時間を検討し、利用者の増

を図ります。また、デマンド型交通体系の実証運行なども検討しています。

要望 公共であっても、いかにして利益を出すかを考えてほしい。

質問 昨年度の住民基本台帳カードの発行数と今後の見通しは。
税務住民課長 昨年度の発行数は51枚ですが、平成20年度から22年度の無料期間中に、ある程度は作られたと考えます。

要望 免許証返納者を中心に、住民基本台帳カードで身分証明ができることを広報し、積極的に活用できるように取組みをしてほしい。

質問 地域コミュニティづくり交付金の内容は。
福祉支援室長 社会福祉協議会に委託し、いきいきサロン、80歳以上の方への誕生日カードの贈呈、理髪サービス、配食サービス、声

の広報などの事業を行なっています。

一般会計決算状況

(単位 千円)

	平成23年度	平成22年度	増減額
歳入総額	4,262,642	4,705,743	△443,101
歳出総額	4,089,217	4,463,323	△374,106
差引	173,425	242,420	△ 68,995
翌年度へ繰り越すべき財源	8,203	27,309	△ 19,106
実質収支	165,222	215,111	△ 49,889
単年度収支	△49,889	51,870	△101,759
実質単年度収支	286,472	180,710	105,762
財政調整基金現在高	647,718	311,357	336,361

の広報などの事業を行なっています。

要望 孤独死が問題になっている。地域職員による見守りや郵便局・新聞配達の方への協力依頼などの検討を求める。

質問 竜島海岸の松くい虫の被害対策は。

地域振興課長 事業としては、樹間注入や伐倒処理、薬の地上散布を行なっています。また、民地の枯れた

委員会で交わされた

決算審査特別委員会

(単位 千円)

特別会計	収入	支出
国民健康保険会計	1,318,717	1,273,214
後期高齢者医療会計	105,505	103,783
介護保険会計	1,059,512	1,047,557

企業会計	収入	支出
病院事業会計	108,236	151,412
水道事業会計	526,439	616,210

●介護会計決算
質問 介護予防事業は全国的にも高い評価を受け、実績もあげているが、今後の取り組みは。
福祉支援室長 地域で行っている事業を通じて、人と人のつながりを中心とした活動を展開してきました。今後は男性の参加を増やしていきたいと考えます。

漏水を早期発見有収率に貢献 介護予防事業で高い評価

松の処理は所有者に指導しています。
質問 有害鳥獣の対策や被害状況は。
地域整備室長 捕獲と侵入阻止の二本立てで対策を行なっています。生息範囲は拡大しているので、拡散を

防ぐことが重要と考えます。
質問 橋梁点検は、1カ所毎の報告書があるのか。
地域振興課長 報告書は1カ所毎にあり、それを基に各橋梁の修繕計画を作成します。
質問 社教バスの修繕料が

150万円以上かかっているが、今後の修理の見通しは。
生涯学習室長 概ね修理を終えたので、今後は大きな修理は見込んでいません。

●水道会計決算

質問 有収率を上げるための取り組みと推移、実績は。
水道課長 昨年度は年度末に漏水が発生し、有収率が下がりましたが、漏水については発見次第早急に修理復元を行なっています。また、町内130キロの配・送水管のうち毎年40キロの漏水探査を行なっており、漏水の早期発見に努めています。



水道漏水探査

源頼朝挙兵830年祭

各種イベントで盛り上がる

NHK大河ドラマの放映を機に、海を越えて各地でイベントが開催されている。

当町においても、実行委員会を組織し、9月1日頼朝上陸地において、「源頼朝挙兵830年祭」と銘打ち、頼朝上陸セレモニーや甲冑行列・頼朝の史跡を訪ね歩くハイキング・観光大使である網代やすお氏歌謡シヨウが盛大に行われた。

なお、10月28日までの期間中、菱川師宣記念館にて頼朝にまつわる特別展の開催や町内協力店による「角なしサザエの伝説」を基にした頼朝グルメフェア。地元縁の女性書家によるオリジナルラベルの記念酒の限定販売など、まさに地域連携によるイベントとなっている。

近年、夏期観光客は減少

傾向にある中で、鋸南の魅力である歴史や文化を有効的に活用し、地域連携によるまちづくりが観光振興の

一大イベントとなるよう、議会としても協力していきたい。



源頼朝上陸地からの甲冑行列

議会の日誌

8月21日(火) 議員全員協議会

8月29日(水) 議会運営委員会

9月5日(水) 第4回議会定例会
～12日(水)

9月7日(金) 決算審査特別委員会

9月27日(木) 議員全員協議会

9月27日(木) 議会広報特別委員会

編集後記

1960年43歳で米大統領になったジョン・F・ケネディは、私の学生時代に「国があなたのために何ができるかではなく、あなたが国のために何ができるかを問いかけて下さい」また、「国の政治は国民の関心の度合いの程度に応じてしか行われない」という半世紀たった今も心に響く言葉を残しました。

財政、そして政治力とも小さいわが町に置き換えてどうでしょうか。社会奉仕や世間のことに一層の関心を持ちたいものです。そして議論(話し合い)が無いところに進歩もありません。まずお互いに関心を持つことが大切だと思います。結果はあまんじて享受しなければならぬのですから。

緒方 猛